

訪日外国人の滞在先が多様化している。外国人観光客の定番コース「ゴールデンルート」にある東京都、大阪府、京都府の外国人宿泊数が2015年に4年ぶりに5割を切った。大都市からの日帰りではなく、宿泊して地域の魅力を味わう外国人が増え、外国人を取り込もうとする自治体の知恵比べが激しくなっている。

東京・大阪・京都だけじゃない

観光庁の「宿泊旅行統計調査」によると、15年の外国人宿泊数は14年より46%増え6561万人泊になった。このうち「ゴールデンルート」の1都2府は37%増の3110万人泊だった。

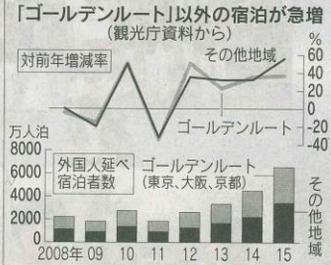
宿泊数で逆転

これに対し1都2府以外の宿泊数は36%増の3451万人泊。全体に占める割合は53%と14年より4%増え、07年の調査開始以来、最高水準になった。16年1～6月も1961万人泊で全体の54%を占め、前年同期より1%増えた。

15年の国籍（地域籍）が把握可能な051万人泊を見ると、中国からは1629万人泊で前年から倍増。台湾が1049万人泊で32%増加し、韓国は5%増の674万人泊だった。タイやシンガポールなど東南アジア6カ国からは623万人泊で26%増えた。

全国の国別割合では中国から27%でトップだが、地域ごとに違いが見られる。504万人泊と前年より64%増えた九州は韓国が38%を占める。高速船で福岡に入り、別府などの温泉地を巡るのが定番で、韓国の割合は前年から2割増加した。九州で増えているのが東南アジアからの観光客だ。佐賀県フィルムコミ

訪日客、地方へGO



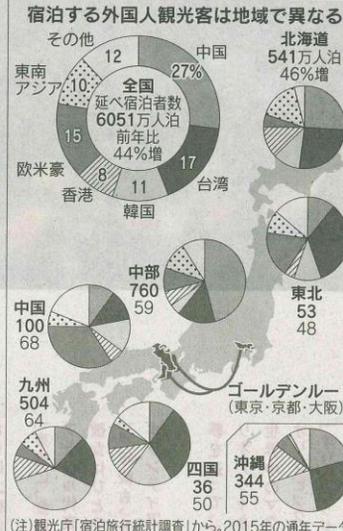
LCCやツアー充実

政府は訪日客を2015年の1974万人から20年には4000万人へ向かう動きがと増えさせる目標を掲げている。達成のカギのひとつが地方への誘客だ。三大都市圏以外の外国人延べ宿泊者数を20年に700万人泊に増やし、地方の観光と地域政策に詳しく日本総合研究所の高坂

買い物から体験へ

「センター長も1日、手探り状態の市のホテルが飽和状態で宿泊費が上昇。例えば京都が目的でも宿泊は避けて、滋賀や和歌山など周辺に向かう動きが外国人にも広がるという。高坂氏は「意外なスポットがSNS（交流サイト）で突然人気が出る場合もある。変化に迅速に対応できる体制づくりが重要」と話す。

（東京地方部 河野俊）



観光交流課という。秋田犬や自転車、東日本大震災で落ち込んだ外国人宿泊数は15年には震災前の10年の2.4倍となったが、東北6県は同5%増にとどまる。観光庁は著名人が登場する動画や海外向けサイトの計画など東北に絞った誘客に乗り出した。青森県は東南アジアで冬は八甲田山の樹氷やス

誘客へ自治体知恵比べ

川郷に続くキー、ストロー列車を観光資源として海外でも売り込んでいる。秋田県大館市などはグループ日本法人と組み海外でも人気の秋田犬の動画をネット配信する。東北では台湾から34%とトップだが、四国でも台湾は3割を超す。雪が人気の東北に対し、四

ツシヨンがタイの番組制作会社などにロケを働きかけたことが奏功。タイで14年に公開された映画や15年に放映されたドラマの舞台となりロケ地巡りのタイ人が急増した。ロケ地となった祐徳稲荷神社（佐賀県鹿島市）ではタイ語のおみくじを用意するなど受け入れ体制の整備も進む。佐賀県、静岡、長野、滋賀を含む15年の外国人宿泊数は、む中部・北陸9県は12年

に9県の名所など域内を熊野古道には欧米、南紀白浜周辺の海や温泉リゾートにはアジアからの客が多い。県は担当職員がけん引役だ。台湾の自動車世界最大手ジャイアンが12年にJR今治駅構内に10店舗。しまみ海道の風景を自転車でも楽しむ観光客が増えている。中国地方では3割強を欧米やオーストラリアからの観光客が占める。お目当ては広島市内の原爆ドームや宮島などだ。オ



岐阜県は地元で盛んな「地歌舞伎」を海外でもアピール